

令和7年度 広島市まちづくり市民交流プラザ 第1回運営委員会 会議録

日 時 令和7年5月28日(水) 10時00分～12時00分

場 所 合人社ウェンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）

北棟6階 マルチメディアスタジオ

出席者 （委 員）阿部委員、木谷委員、服部委員、藤原委員、脇谷委員、
（プラザ）森原館長、石山主任

開会

館長あいさつ

令和7年度 プラザ職員の紹介

議事及び会議要旨

議事1 役員の選出について

運営委員の互選により選任しました。

運営委員長 脇谷委員

副委員長 阿部委員

議事2 令和7年度事業計画について

事務局から、令和7年度事業計画の主な事業について説明し、意見が交わされました。

（〇運営委員、事務局）

- ・令和7年度主な事業の説明をします。
- ・パソコンボランティア養成事業は、マルチメディア学習支援事業に関わるボランティアの育成を行っています。令和6年度は、新たに8名の方がボランティア登録しました。ICT個人学習支援およびパソコン学習支援事業での活躍が期待できます。
- ・関連資料・図書コーナーの運営は、3階フリースペースの図書の入れ替えを行っていない現状であることから、市民活動団体や生涯学習グループにおける活動に役立つ本を選び、新たに図書を設置していくことを5年間かけて計画しています。
- ・生涯学習・市民活動情報誌「らしっく」は、年3回発行しています。令和7年度は、被爆80年の節目の年になります。特に、高校生や大学生等の若年層の団体、被爆80年の行事に携わっている団体の特集で紹介していきます。紙媒体の他、WEBでも読んでいただける情報誌です。
- ・地域活動活性化支援プログラムの研究は、ひろしまLMOとの連携を考えている公民館等へ持続可能な地域コミュニティの活動を行う上で必要な知識や技術について学習する機会の提供を行う事業です。公民館と連携しながら進めていきます。
- ・企業等社会貢献活動推進事業は、年4回の例会と企業の社会貢献活動の啓発・促進を図るこ

とを目的とした協働セミナーを行います。令和7年度は、17の企業と2団体で構成される研究会で情報交換や協働事業の実施をします。企業独自での社会貢献活動が進めにくい企業も参加できるよう、今後事務局として働きかけをしていくことを考えています。

- ・まちづくりボランティア人材バンクの運営は、令和8年度が人材バンク設立30周年となります。令和6年度は、5年ぶりに登録者紹介件数目標320件を上回る360件を紹介することができました。依頼団体は、放課後児童クラブやデイサービスを実施している施設、地域サロン等様々です。引き続き、主要事業として力を入れていきます。
- ・相談・コーディネート事業の生涯学習相談会は、令和7年度新たに「自己肯定感をはぐくむ」という事業名で、不登校等こどもたちを取り巻く環境を解決していく相談事業を実施します。
- ・市民活動・ボランティア体験講座は、障害者支援を行っている団体を講師に迎え実体験を交えて、聴覚障害や視覚障害について理解し、介助を必要としている方への対応を考える機会を提供します。
- ・まちかど賑わいづくり事業は、セトラひろしまの協力により花壇やハンキングの整備を行っています。また、年2回花壇の植え替えを袋町小学校2年生と行っています。
- ・まちづくり市民交流フェスタは、5月中旬から参加団体募集を行い、昨年度よりも早めに事業に取り掛かっています。また、まちづくり企画・運営ボランティア養成講座では、昨年度同様に高校生への参加者募集を積極的に行い、若年層の方の参加を促していきます。

○議長：運営委員のみなさん、意見等ありましたらお願いします。

○ボランティア事業は多岐にわたり実施しますが、社協との連携事業はありますか。

- ・ボランティア調整機関情報交換事業の中で、社協他ボランティア活動の調整等を行っている機関が活動報告や情報交換を行っています。社会貢献事業等、社協と同様の事業を実施していることから、情報交換を行い実施内容の見直し等を行っています。

○地域活動の担い手不足解消等の為に、若者の担い手をボランティアに繋げたいです。

○大学生がボランティアを行った際、大学の単位になるのでしょうか。

- ・フェスタボランティア参加者のうち、希望者にはボランティア証明書の発行をしています。

○地域団体の次世代の担い手がいけないことが問題になっています。中学生、高校生でボランティアを経験していることが大人になって役立つことを期待しています。

○民生委員の活動を学生に見学してもらうことで、若い世代に関心を持ってほしいです。

○ボランティアポイントを進めている団体もあります。高校生でボランティアを始めた方が大人になっても引き続きボランティアをしています。

○ボランティアに参加して「楽しかった」経験が次に繋がります。ファシリテーターが楽しく役割を担っていけば、ボランティアも盛り上がります。公民館長が地域へ出向いて活動の場を見つけている公民館もあります。人と人が繋がるきっかけを出向いて探して欲しいです。

○袋町LMOの活動は、積極的に声かけ等の働きかけにより、公民館や小学校等を巻き込んでいくことを考えています。

○相談・コーディネート事業のキャリアプランとはどのような内容を実施するのでしょうか。

・プラザが実施する事業は、学生から社会人になるときに必要な人生設計を考える機会を提供、また起業等のスキル等、企業の方がアドバイスする機会の提供をしていきます。

○若い方を巻き込むことは、若年層が求めているのでしょうか。新たに、事業を計画するよりも現在若年層を対象に事業を実施しているひろしまジン大学等と連携しながら事業を進めていく等、他機関で実施している事業への橋渡しをしていくことを考えてみてはどうでしょうか。

○企業の若手職員対象にキャリアプランナーを招いても、関心がなく参加しない事例がありました。

○事業にメリハリをつけないと職員が大変になるのではないかと思います。34事業ありますが、集約できるものはまとめて実施する等工夫してほしいです。また、市民活動・ボランティア体験講座は、社協が中心になって実施できることから、内容は社協に任せてもいいのではないかと思います。プラザの役割を認識して、職員が生き生きと事業実施できる体制を作してほしいです。

○車いす介助ボランティアが、8月6日の平和記念式典で活動するので取り上げてほしいです。

○らしっくの特集団体について、新聞等で取り上げられない団体に焦点を当ててほしいです。

○施設の特性を生かした事業実施をしてほしいです。事業は施設と連携をしながら、効率よく実施していくことを検討してください。

○託児サービス事業は、「託児サービスがあれば学びたい」という発想で事業内容を考えてほしいです。子育て世代の学びの支援についても、力を入れてほしいです。

○子育てオープンスペースの参加は、減少しています。平日実施ですが参加がないときもあります。

○趣味の講座(ネイル講座)等を取り入れて、若年層が事業に参加するきっかけにしてほしいです。

議事3 まちづくり市民交流フェスタ2025について

事務局から、まちづくり市民交流フェスタ2025について説明し、意見が交わされました。

(○運営委員、・事務局)

・フェスタ開催目的を説明しました。実行委員長は運営委員会から選出します。また、フェスタ当日の開会式挨拶をお願いします。

・フェスタ実行委員会は2回実施ですが、場合によっては部会の実施が加わる場合があります。

・昨年までの部に、新たにバザーを含む催し物の部が加わりました。

・事務局から依頼をする袋町小学校による展示、当日運営ボランティアがあります。

当日運営ボランティアは、令和7年度は新たにあそびの内容の企画を盛り込んでいきます。

・3階フリースペースの利用団体への声かけや青少年センターで活動している団体へ施設を通じてSNSを使い広報を行っています。

・第1回実行委員会で、部会毎の説明をする時間を持ちたいという意見が職員からありました。

また、告知チラシ(案)を提示し、後日締め切り期日を設け、第2回実行委員会開催時に告知

チラシを配布する予定です。

- ・当日運営ボランティア広報は、広島市近郊の大学他、中区内の高校への配布を予定しています。
ボランティアを実施したことがない方にも参加できる内容を提供していきます。10月第2週目まで参加募集期間を設けています。
- 楽しくない雰囲気を味わったら来年から参加がないです。「広島市防災士会」等、人を集めることのできる団体への依頼を行ってほしいです。
- ・国泰寺中学校へフェスタ参加の呼びかけを行ってきました。吹奏楽部の出演やうらぶくろ商店街の出店等によりフェスタを盛り上げていきたいと考えています。
- ふむふむの参加団体にも声かけし、助成を受けた団体に積極的に声かけしてはどうでしょうか。
- 組織図は、参加団体がメインで事務局が裏方に見える図にしてほしい。ボランティアは手伝いではなく、担い手としての役割の位置付けをお願いします。
- ・「つどい まなび 楽しむ」は、テーマとしてこれからも変わらず使うかを協議してください。
- 「つどい 楽しむ つながる」も取り入れて、職員の意見も出してほしいです。
- ・テーマは、第1回実行委員会で案を出して、参加団体に図る時間を設けます。
- 「つどい 楽しむ つながる」のように、テーマの掲載方法も工夫してほしいです。
- 当日ボランティア運営募集チラシは、フォントとレイアウトの工夫を凝らして作るとよいです。
- 社協主催事業のボランティア募集を行う際も、フェスタボランティア募集を行っていきます。
- フェスタの集客に神楽を招いてはどうでしょうか。神楽の団体が舞台を組むので、南棟1階ロビーでも実施が検討できます。
- ・参加団体からの意見を出してもらう時間を第1回実行委員会で設けること、昨年までのフェスタ準備スケジュールを見直す等、令和6年度の運営委員会の意見を反映し、フェスタの準備を行っています。

【実行委員長は互選により決定】

実行委員長 阿部委員

【第2回運営委員会】

フェスタ終了後の予定（11月下旬）

閉会